

製品名: MUSK マウスモノクローナル抗体

カタログ番号: AMM80740

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC, ICC, ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:200-1:1000, ICC 1:200-1:1000, ELISA 1:5000-1:20000
分子量	97kDa

抗原情報

遺伝子名	MUSK
別名	muscle, skeletal, receptor tyrosine kinase
遺伝子 ID	4593.0
SwissProt ID	O15146
免疫原	HEK293 細胞株で発現した hIgGfc タグと融合したヒト MUSK (aa24-209) の精製された組み換え細胞外断片。

背景

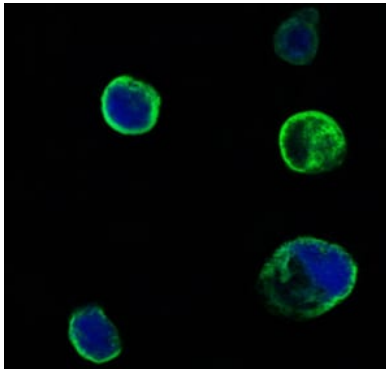
MuSK (Muscle Specific Kinase、筋特異的キナーゼ) は、神経筋接合部 (NMJ) の形成に必要な受容体型チロシンキナーゼで

す。MuSKは、自身の特定のチロシン、および受容体の細胞質ドメインに結合するタンパク質にリン酸分子を付加することで、細胞シグナル伝達を誘導します。MuSKは、アグリンと呼ばれる神経由来のプロテオグリカンによって活性化されます。発達過程において、運動ニューロンの軸索の成長末端は、アグリンと呼ばれるタンパク質を分泌します。このタンパク質は、骨格筋表面の複数の受容体に結合します。神経筋接合部（NMJ）の形成に必要と考えられる受容体は、神経筋シナプスを構成し、MuSKと呼ばれています。MUSKの変異は、神経筋接合部の形成における重要なステップであるアグリン依存性アセチルコリン受容体（AChR）の凝集を減少させます。

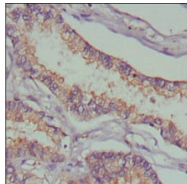
研究分野

-

画像データ



MUSK マウス mAb（緑）を用いた、細胞外 MUSK（アミノ酸 24-209）-hlgGfc を導入した HEK293 細胞の共焦点免疫蛍光染色。青：DRAQ5 蛍光 DNA 色素。



MUSK マウス mAb と DAB 染色を使用した、パラフィン包埋ヒト肺がん (A)、筋肉 (B)、乳がん (C) の免疫組織化学分析。

